

都市再生整備計画

いいやまちゅうしんしがいちちく
飯山中心市街地地区

ながのけん いいやまし
長野県 飯山市

令和 3 年 3 月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長野県	市町村名	飯山市	地区名	飯山中心市街地地区	面積	115.3 ha
計画期間	令和3年度～令和7年度	交付期間	令和3年度～令和7年度				

目標
各地域に根差した取組みを民間と連携して創意工夫し、まちの個性や魅力に磨きをかけるとともに、道路、公共交通、情報基盤等の活用、防災対策の強化により地域住民はもとより当市を訪れる多様な人々とつながり支え合うまちづくりの実現
・地域の歴史・文化、自然的資源の保全、活用によるまちの回遊性と魅力向上を図る。 ・各種施設や広場などの空間の維持・充実、住民・地域が知恵や力を出し合う機会の拡大を図る。 ・防災施設の整備、防災対策の強化に取組み「安心して暮らせるまち」として住民満足度の向上を図る。

目標設定の根拠
都市全体の再編方針 北陸新幹線飯山駅とJR北飯山駅の間に広がる中心市街地は個人商店や金融機関の支店、個人医院等が立ち並ぶ利便性を備えた地域であり、寺院や仏壇通り、飯山城址公園等の歴史と文化を感じられる地域でもあることから市民と来訪者で活気に満ちていましたが、郊外のバイパス沿線に広い駐車場を有した大型商業施設が複数出店したことで中心市街地の空洞化が進み、にぎわいを失っています。周辺地域からの利用において郊外の大型商業施設は利便性が高く今後も維持していく必要性がある一方で、「暮らし続けられるまちづくり」として車を利用せず日常生活に必要なサービスを利用できるよう徒歩圏内にスーパーや医療施設、交流の場など既存の都市機能を維持し、利便性の高い移動手段の充実を図る。 周辺地域においては、商店や公民館等の日常利用する施設の維持を図るとともに、中心市街地への移動手段として鉄道や路線バスのほか、コミュニティバスや乗合タクシー等の充実を図り、離れた地域のサービスを利用しやすい環境を整え周辺地域の利便性を高める。 これまでの市街地形成の経緯と立地特性から洪水の浸水想定区域について防災対策を前提として居住誘導区域に含めているため、暮らしの安全性を高める観点から、災害リスクの周知、避難体制・防災対策・発災時の情報提供の強化を図り、都市公園は防災機能を持たせることで日頃は住民の交流の場として、災害時には一時避難場所として活用する。 飯山城址公園については飯山城が機能していた江戸時代末期の状態への復元をはじめとする公園整備により歴史的シンボルとしての魅力の回復と憩いの場としての機能の充実を図ることで、にぎわいの創出と市民に親しまれる空間づくりを行う。 また、住民間の交流促進と美しい街並み形成に資する取組みとして、市街地をおもてなしの花で彩る住民参加型の事業を実施することで住民のまちづくりへの関心を高め、中心市街地を利便性と安全性にくわえ住む人々が親しみと歴史、文化に誇りを持てるまちづくりを推進する。 旧城南中学校跡地や北陸新幹線飯山駅前の公共用地について民間または官民連携事業による活用を図り、宿泊施設、商業施設、医療施設等の生活機能と滞在機能を集約することで北陸新幹線飯山駅の拠点化と集客力向上を促進する。
まちづくりの経緯及び現況 ・本地区は平成27年3月に開業した北陸新幹線飯山駅を玄関口と位置付け、まち中の回遊性向上を図る取組みとして歩道や案内サインの整備、観光拠点となる飯山城址公園の整備をすすめるとともに、飯山駅を基点としたまち並の整備を重点的に進め、修景整備や市民活動への支援などを行う。 ・飯山城址公園については、平成24年より飯山公園整備計画に基づき飯山城の復元をはじめとする公園整備に着手し、飯山の歴史と文化を発信する拠点、来訪者が四季を通じて憩う公園を目指すとともに市民が日頃から飯山城に関わり楽しめるしかけづくりの展開を図っているところであり、今後も引き続き飯山城が機能していた江戸時代末期の姿の復元にむけて公園整備を進める。 ・これまでの市街地形成の経緯と立地特性から居住誘導区域に防災対策を前提として洪水による浸水想定区域を含めているため、市民が求める安全を提供する防災対策の強化が必要である。
課題 ・飯山城は、独立丘陵の平山城という近世城郭の中でも貴重な城跡であるが、その歴史的価値は市民に広く認知されないまま現在に至る。歴史と文化を感じられる飯山城址公園の整備により市民のまちに対する誇りや愛着を深め、来訪者が回遊して時間消費ができるよう、地域資源を活かしたまちづくりが望まれる。 ・令和2年度の台風第19号災害により中心市街地が浸水被害を受けたため、飯山中心市街地住民から防災対策の強化を望む声が多く挙がっている。
将来ビジョン(中長期) 【総合計画】 ・第5次総合計画(平成25年度～令和4年度)では、基本構想の中で、「北陸新幹線飯山駅開業」を当市最大の契機と捉え、住みやすく、安心やゆとりが実感できる生活を送ることができる「自然と共生した新たな価値創造の都市」として更に発展することを目指し、新幹線開業後の都市像と目指すべき方向性を明らかにしている。 ・都市計画マスタープランにおいて、飯山の顔づくりとして計画的な土地利用・景観形成の充実・公共交通の利用促進を推進し、活力ある中心市街地の形成を目指す地区としている。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方							
・中心市街地は医療施設、商店街等の経済機能、図書館や市民ホール等の公共公益機能を有しており市内では利便性の高い地域となっているため、現況の維持に努めるとともに、鉄道・バスの結節点である北陸新幹線飯山駅周辺(徒歩圏内)に生活サービス機能(医療・商業・行政施設・文化・交流施設等)と併せて観光・宿泊施設などの滞在機能の充実を図る。 ・中心市街地は北陸新幹線飯山駅と北飯山駅の鉄道駅を有しており、2駅の間に既存の商店街、寺町、地域住民の交流の場であり観光拠点でもある飯山城址公園が点在している。都市機能の多くは北陸新幹線飯山駅周辺に集約整備を進めるが、既存市街地の構造から商店街や飯山城址公園の活用と併せて2駅間の歩行空間の整備等、公共交通の充実を図り回遊性を高める取組みを推進する。 ・各集落等の周辺地域は身近な日常生活機能や公民館等のコミュニティ機能を維持しながら、中心市街地に集約整備される公共・公益サービスの利用に必要な道路・公共交通ネットワークの維持・強化を図る。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等 都市再生土地区画整理事業や都市・地域交通戦略事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
							目標年度
飯山城址公園満足度	点	満足度調査アンケートの平均点(25点満点を100とした場合の平均点)	歴史的シンボルである飯山城址公園の整備により、飯山の歴史と文化を感じられる空間として来訪者の満足度向上を図る。	73点	R1	77点	R7
空き店舗等解消・活用件数	件/年	中心市街地(飯山地区)における空き店舗等解消・活用件数	まちなかの回遊性を高め、市街地の賑わいを創出することで空き店舗等の活用増加を図る。	2件/年	R1	2件/年	R7
災害に対する安全性満足度	%	地震・洪水等の災害に対する居住地区の安全性の満足度	居住誘導区域に浸水想定区域(想定浸水深5.0m未満)が含まれていることから、防災対策の強化により安全性の向上を図る。	16.4%	R1	40%	R7
飯山地区人口密度	人/ha	居住誘導区域1haあたりの居住人数(現況人口)	「住みやすいまちづくり」の一環として公園整備、防災対策の強化等を実施し、居住の誘導を図る。	27.3	H27	27人/ha	R7

整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針	
整備方針1:【立地適正化計画「北陸新幹線飯山駅を起点とした市全体へのにぎわいと利便性を拡大」するための整備】 ・市街地の回遊性を高めるため北陸新幹線飯山駅から観光拠点であり住民の交流の場でもある飯山城址公園までの連絡道路および歩行空間の整備、案内標識等の設置を行う。 ・市街地に点在する観光資源や商店街巡り、滞在の快適性を高めるため屋外用Wi-Fi整備事業を行う。	方針に合致する主要な事業 【基幹事業】 ・地域生活基盤施設:市道1-127号線沿線4箇所(案内標識新設) ・高質空間形成施設:市道1-380号線路面整備 【提案事業】 ・地域創造支援事業:Wi-Fi整備事業
整備方針2【立地適正化計画「飯山駅周辺に生活サービス機能と滞在機能を充実させる」ための整備】 ・住民が集い交流する場、訪れる人々が当市の歴史と文化を感じ憩える場として、広場や南大手門周辺等の飯山城址公園の整備を行う。 ・各地域の創意工夫を引き出すことで市全体の活力を維持する取組みとして、各地区で花修景に取組む市街地フラワーパーク事業を行う。	【基幹事業】 ・公園事業:飯山城址公園整備(都市公園、条例公園) 【関連事業】 ・中心市街地フラワーパーク事業
整備方針3【立地適正化計画「災害に対する市街地の安全性を高める」ための整備】 ・年齢を重ねても安心して同じ場所に住み続けることができる居住区域として、避難場所の整備・防災対策の強化、降雨を街中から排除する雨水流下能力の向上を図る。 ・市街地の南北幹線を東西に結び延焼を防ぐ役割も兼ね、街路樹も形成されている主幹道路にて、景観や防犯的に必要なとなる街路灯の整備を行い、安心感はもちろんのこと賑わい創出も図る。	【基幹事業】 ・公園事業:飯山城址公園整備(都市公園)、鉄砲町児童公園、上町児童公園 ・高質空間形成施設:市道1-234号線街路灯整備、市道1-380号線側溝入替え 【関連事業】 ・城北下水道整備事業
その他	
・信越9市町村広域観光連携会議 北陸新幹線飯山駅開業効果を最大限に活かすため、9市町村(飯山市・中野市・妙高市・山ノ内町・信濃町・飯綱町・木島平村・野沢温泉村・栄村)が中心となって構成されている。連携会議には、事業推進部会・観光振興部会・交通アクセス・案内所部会・受入体制整備部会があり、交通アクセスの整備、豊富な自然や食材から生み出される観光資源の強化・開発、農林業、商工業、健康・医療、教育との連携等により、地域経済の発展を図り、国際的にも通用する観光エリアを構築することを目的とした様々な活動を行っている。 ・地区内では「夏祭り」や地区ごとに開催される「秋祭り」、地域住民、企業等が参加する「花フェスタ」、「フラワーロード」、「沿路プランター」等の事業を行い、地域の魅力向上と賑わい創出に努めている。 【官民連携事業】☑都市再生整備計画区域内で、道路占有特例、河川敷地占有、歩行者経路協定、都市利便増進協定を活用する場合には記載する。	

様式(1)-④-1

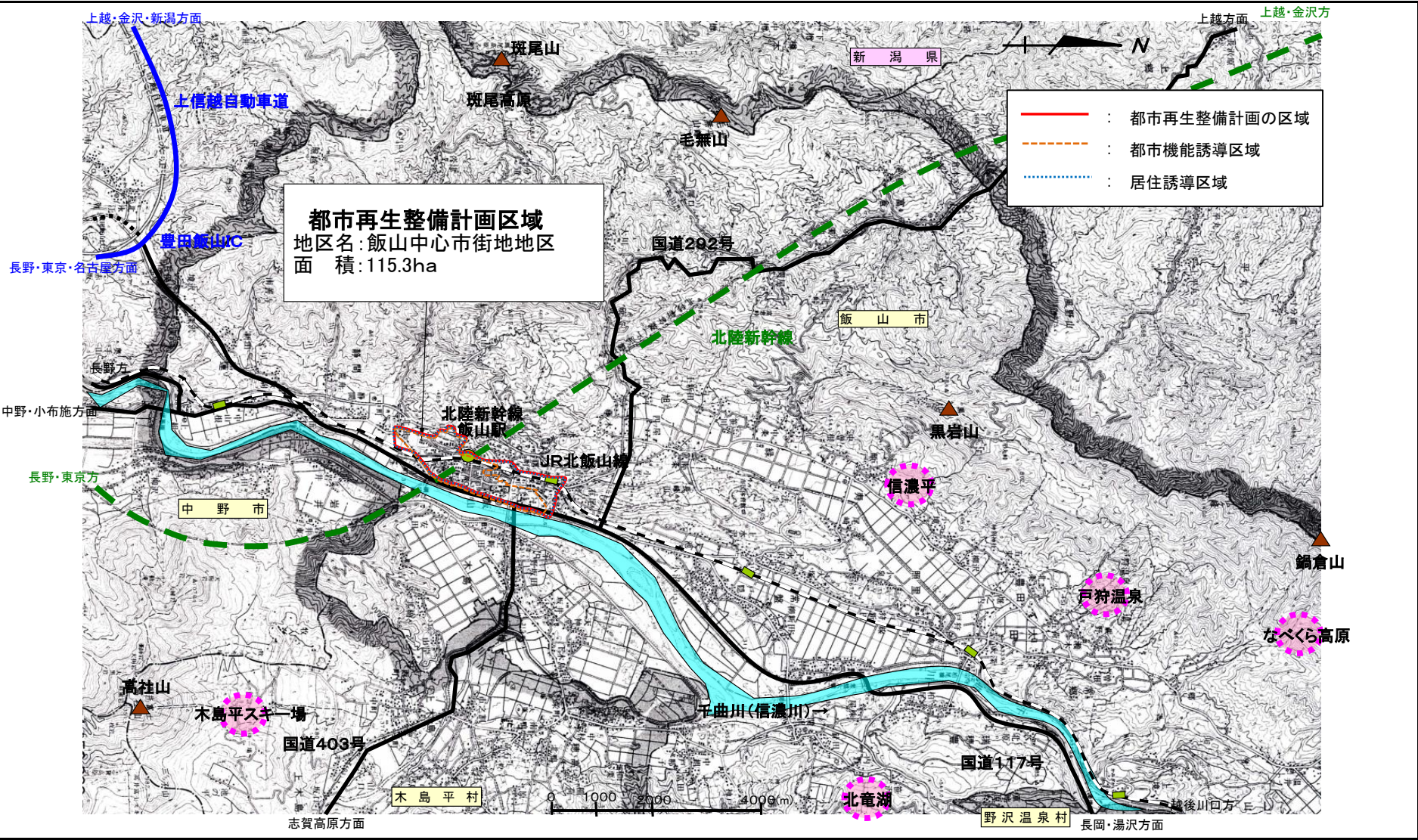
(金額の単位は百万円)

統合したB/Cを記入してください

0	4 ... B
B)	222

[illegible]

飯山中心市街地地区(長野県飯山市)	面積	115.3 ha	区域	南新町・上町・本町・肴町・田町の全部と 金山・新町・栄町・鉄砲町・福寿町・奈良沢・愛宕町・神明町・北町の一部
-------------------	----	----------	----	---



飯山市中心市街地地区(長野県飯山市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	各地域に根差した取組みを民間と連携して創意工夫し、まちの個性や魅力に磨きをかけるとともに、道路、公共交通、情報基盤等の活用、防災対策の強化により地域住民はもとより当市を訪れる多様な人々とつながり支え合うまちづくりの実現	代表的な指標	飯山城址公園満足度（点）	73点（R1年度）→77点（R7年度）
			災害に対する安全性満足度（%）	16.4%（R1年度）→40%（R7年度）
			飯山地区人口密度（人/ha）	27.3人/ha（H27年度）→27人/ha（R7年度）

